

### みずほCustomer Desk Report 2023/12/04号 (As of 2023/12/01)

金融市場部 為替営業第二チーム

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	147.86
TKY 9:00AM	148.01	1.0895	161.17	1.2635	0.6607
SYD-NY High	148.33	1.0912	161.75	1.2716	0.6675
SYD-NY Low	146.66	1.0829	159.65	1.2615	0.6600
NY 5:00 PM	146.81	1.0884	159.75	1.2709	0.6675

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	36,245.50	294.61	日本2年債	0.0400%	0.0200%
NASDAQ	14,305.03	78.81	日本10年債	0.7000%	0.0300%
S&P	4,594.63	26.83	米国2年債	4.5498%	▲0.1439%
日経平均	33,431.51	▲55.38	米国5年債	4.1388%	▲0.1337%
TOPIX	2,382.52	7.59	米国10年債	4.2080%	▲0.1213%
ソコ日経先物	33,475.00	▲70.00	独10年債	2.3595%	▲0.0880%
ロンドンFT	7,529.35	75.60	英10年債	4.1385%	▲0.0330%
DAX	16,397.52	182.09	豪10年債	4.4940%	0.1320%
ハンセン指数	16,830.30	▲212.58	USDJPY 1M Vol	8.80%	▲0.29%
上海総合	3,031.64	1.96	USDJPY 3M Vol	8.75%	0.11%
NY金	2,089.70	32.50	USDJPY 6M Vol	8.73%	0.03%
WTI	74.07	▲1.89	USDJPY 1M 25RR	▲1.09%	Yen Call Over
CRB指数	270.77	▲2.87	EURJPY 3M Vol	8.55%	0.15%
ドルインデックス	103.27	▲0.23	EURJPY 6M Vol	8.70%	0.06%

#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月1日	08:30	日 失業率	10月 2.5%	2.6%
	18:00	欧 製造業PMI・確報	11月 44.2	43.8
	23:45	米 製造業PMI・確報	11月 49.4	49.5
12月2日	00:00	米 建設支出(前月比)	10月 0.6%	0.3%
	00:00	米 ISM製造業景況指数	11月 46.7	47.8

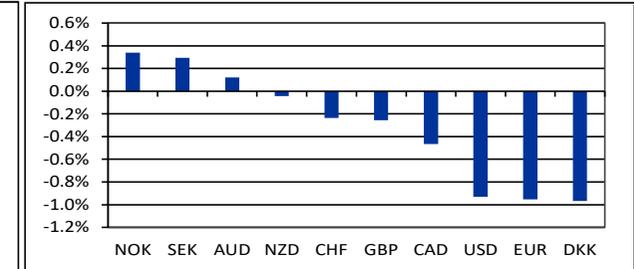
#### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月4日	23:00	欧 ラガルドECB総裁が講演	-	-
12月5日	00:00	米 製造業受注(前月比)	10月 -3.0%	2.8%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	10月 -	0.8%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	10月 -5.4%	-5.4%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	10月 -	0.0%

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.0-147.5	1.0850-1.0930	158.4-161.2

#### 【マーケット・インプレッション】

先週金曜のドル円は下落。東京時間・ロンドン時間は148円を挟んで推移した。NY時間朝方のISM製造業景況指数が市場予想対比下振れ、ドル円は147円半ばに下落した。その後、パウエル議長は講演にて「適切であれば追加引き締め用の用意がある」とした一方で、「政策金利は抑制的な領域に深く入った」とも述べた。市場では発言がハト派的に受け止められ米金利とともにドル円は一段と下落し、146円後半でクローズ。本日は米10月耐久財受注の発表があり、この結果を意識した値動きとなるだろう。大きく下げた米金利が売り戻され、ドル円は147円台まで上昇していく展開を予想する。

東京	東京時間のドル円は148.01レベルでオープン。前日の流れから一転し、仲値にかけてはドル売り優勢の展開となり147.61まで下落。その後は米金利が持ち直す中で148.19まで買い戻されるも、パウエルFRB議長の発言を控えて勢い続かず。結局、148.07レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ユーロ安継続。ロンドン市場のドル円は、148.07レベルでオープン。特段の材料がない中、方向感なく推移し、結局148.26レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0907レベルでオープンし、前日に続いてインフレ減速を背景に軟調に推移。結局、1.0877レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。パウエルFRB議長の発言を控え、148円付近での神経質な値動きが続き、148.26レベルでNYオープン。朝方は148.10付近を挟んだ推移となる。米11月ISM製造業ヘッドラインが予想を下回り、パウエル議長会見はバランスを取った内容にサプライズはなかったが、米金利低下と共に売りが優勢となり、146.66まで値を下げる。午後は売り一巡となるも、米金利が低水準で推移する動きが上値を抑え、146.80近辺での小動き後、146.81レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。独金利が低下する動きを横目に、小幅反落し1.0877レベルでNYオープン。朝方は米金利が低下する展開を支えに、1.0885まで反発。午後は週末を控え、積極的な取引が手控えられる中、小幅反落し1.0884レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 南野・田川